

# 学ぶ意欲をもち、自他を大切にする子どもを育てる

エビデンスを重視した取組の焦点化

重点項目Ⅱ

## 児童の学力向上

重点項目Ⅰ

## 遅刻・不登校児童の減少

### 授業づくり(指導法の研究)

指導と  
評価の一体化  
こまめな指導改善の  
ための評価  
(見取り)

重点教科  
**算数**  
躊躇を減らし、  
達成感につなげる

全教員

家庭学習と  
授業の接続

「明日の授業への意欲」  
予習⇒授業⇒復習  
サイクルの確立

わかる・できる  
授業へ

研究授業

児童間の  
学び合い

聞き合い、伝え合う  
活動を通して深める  
(少人数で)

### 基礎・基本の定着(学力向上)

- ・週3日以上の計算タイム  
→ 曜日ごとにプリントを変える  
(月5枚プリント準備)
- ・月に1回確認テスト  
(5枚のプリントから出題)

### チーム体制での支援

1次

担任・学年チームの支援  
電話連絡・家庭訪問による  
児童家庭との連携の継続

1次支援は常時対応

2次

学校全体での支援  
保健室・SC・ステップルーム

3次

外部機関との連携・支援  
SSW・スクⅡ・区役所 等

学年支援  
管理職

チーム学校で見守り強化

### 児童に関するデータの活用

心の天気・相談機能・登校状況による児童把握  
(新版)生活アンケートによる学級分析  
hyper-QUによる学級診断(6年生)

重点項目Ⅲ

## 児童を取り巻く教育環境の充実

### ICTの有用性を生かす

教育ビッグデータの有効活用  
個別最適化 校務の効率化

### 生活科・総合的な学習

南津守地域に根差した教育課程  
発信拠点となり、地域文化を創る

### しなやかな組織づくり

専科指導による担任の授業負担減  
バーンアウトを防ぐ組織風土づくり  
タイムマネジメント 閉庁時間の設定

特別支援教育の専門性

人権尊重の組織づくり

チームの協働性